

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	コロナ禍後の観光地づくり
事業主体 (連絡先)	公益財団法人妻籠を愛する会 (南木曾町吾妻2159-2 TEL: 57-3513)
事業区分	②地域ごとに重点的に推進するテーマ ウ観光地づくりの推進
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	715,000円 (うち支援金: 551,000円)

事業内容

- ・コロナ禍後の環境整備の明確化
馬籠峠を歩くハイカーの満足度を高めるため対面による情報収集を行い、今後の改善点を考察した。調査対象者に情報発信をお願いし、お礼として桧箸を1膳ずつ渡した。
- ・シャワールームの快適な使用環境の提供
昨年度の元気づくり支援金事業で設置したシャワールームにエアコンと乾燥機付き洗濯機を設置し、シャワー後のさっぱりとした環境づくりを行った。



【まつや外観】

【目標・ねらい】

- ① コロナ禍後の環境整備の明確化 (日頃の観光・中山道ハイカー)
- ② シャワールームの快適な使用環境の提供 (まつやの整備)

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

一石栃立場茶屋では新型コロナウイルス感染拡大対策に努めながらアンケート調査を行い、情報発信を依頼し、満足度を高めるため対面による情報収集ができた。

「まつや」に観光客が安心して散策できる環境づくりができた。

今年度も新型コロナウイルスの影響で大幅に観光客が減少したが、来年度への地固めができた。

馬籠峠のハイカー情報発信者

令和3年7月～4年1月日本人 100人のうち 51人 (51.0%)

令和3年7月～4年1月外国人 78人のうち 66人 (84.6%)

※自己評価【A】

【理由】

シャワールームにエアコンと乾燥機付き洗濯機を設置し、コロナ終息後妻籠宿を訪れる観光客へのおもてなしの質の向上を図ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

妻籠宿の中央に位置する「まつや」のシャワールームにエアコンと乾燥機付き洗濯機を設置し、ゆったりとした観光地づくりが整備された。今年度は新型コロナウイルスの影響で観光客が大幅減となったが、次年度以降も気持ちよく散策できる環境づくりに努めていきたい。

アンケートの中で、要望が多かった食事情報、宿泊情報、開花・紅葉等の情報については町の観光協会と協議して改善に努める。路線バスの増便については町に進言したい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある